

**最上地区の県立高校の再編整備計画に係る地域説明会**  
**金山町会場 記録**

- 1 日 時 平成24年1月24日(火) 19:00~20:30  
2 場 所 金山町中央公民館  
3 出席者 地域の方々 57名  
          県教委 教育次長、高校改革推進室長、高校改革推進室室長補佐  
          高校改革専門員、高校改革主査2名

4 内 容 高校改革推進室長から計画骨子を説明後、質疑応答

5 質疑応答概要

(質問・意見)

- キャンパス制を組んでいる両校での部活動の関係性について、一方の学校で部員が足りず大会に出られない場合、部員を満たしている学校の練習に参加して、そして大会にも出場することが可能となるのか。そうでなければ、キャンパス制を導入しても、現状とあまり変わらないのではないか。

(県教委)

- 現在の県高校体育連盟の規定によれば、種目によっては、両校とも大会規定よりも人数が少ない場合、合同のチームで県大会まで出場できるというのが現状である。

(質問・意見)

- キャンパス制は、山形県独自の制度か。

(県教委)

- 西村山地区の高校再編整備の検討委員会が出されたアイデアをもとに制度化した本県独自のものである。
- 西村山地区と西置賜地区では、平成25年度の実施に向けて、今年度から当該教職員による運営準備委員会が設置され、どのような連携・交流ができるか検討されている。その議論において、さまざまなアイデアが出されているようだが、初めて本校と分校におけるキャンパス制となる最上地区でも、西村山地区と西置賜地区と同様の連携・交流ができるかはわからない。
- 最上地区のキャンパス制において実施できそうなアイデアとしては、分校は一人の教員しか配置されない教科が多く、日常において授業や指導方法について同じ教科の教員と相談したり研究し合ったりする機会がないので、同じ教科の本校教員との合同研修などを行って指導力向上を図る連携・交流が考えられる。
- 北海道では大規模校と小規模校の組み合わせで連携・交流をしており、「センター校」と呼ばれる大規模校から教員を派遣した出張授業や映像による遠隔授業などを実施している。青森県の場合は「校舎制」と呼ばれており、本校と分校の間での連携・交流を行っている。広島県は本県のキャンパス制と似て、2~3学級規模の学校も連携・交流の対象となっており、理科や地歴などの専門科目の教員を派遣した出張授業、部活動では合同チームによる大会出場、文化祭における生徒会の交流、合同マラソン大会などが行われている。

(質問・意見)

- 「分校」と「キャンパス校」との違いは何か。
- 本校と分校は、一人の校長が経営管理するなど関係があるが、キャンパス制を導入することで、両校の教職員による運営準備委員会で議論するなどして、より関係が緊密になるという理解でよいか。

(県教委)

- 「分校」とは、法的に定められた設置形態である。キャンパス制を導入した分校について「キャンパス校」あるいは「金山キャンパス」という呼称を用いるのは可能である

と思うが、「キャンパス校」という設置形態があるのではない。

- 新庄北高校と新庄北最上校との例で申し上げれば、両校は本校と分校という関係だが、これまで生徒及び教職員が連携・交流した教育活動等はほとんどなかった。キャンパス制を導入することで、可能な範囲で両校の実情に応じた連携・交流を図ることとなる。
- キャンパス制は、教育環境の維持・向上という目的とともに、将来の統合を視野に「入学者が入学定員の2分の1に満たない年度が2回になった場合に翌年度から募集停止」という学校の統廃合の在り方を示すという側面がある。

(質問・意見)

- キャンパス制が導入される前の平成24、25年度において、入学者が入学定員の2分の1に満たなかった場合、分校化とキャンパス制の導入を待たずに、平成26年度に金山高校は募集停止となるのか。
- 「入学者が入学定員の2分の1に満たない年度が2回」とは、累積2回ということか、それとも2年連続ということか。

(県教委)

- 「入学者が入学定員の2分の1に満たない年度が2回になった場合に翌年度から募集停止」は、キャンパス制を導入した分校に適用されるので、まだキャンパス制を導入していない平成24、25年度においては適用されない。平成24、25年度において、入学者が入学定員の2分の1に満たなかったとしても、平成26年度の金山高校の分校化とキャンパス制導入は実施される。
- 「入学者が入学定員の2分の1に満たない年度が2回」とは、累積2回である。

(質問・意見)

- 金山高校は、平成24年度から1学級40名定員での募集となるが、教員は何人配置されるのか。
- 教員数が減るが、特定の教科に重点的な教員配置をするなどして、金山高校が特色を出せるよう配慮をお願いしたい。また、金山町は林業が盛んなので、後継者を育成できるような学科を金山高校に設置して欲しい。
- 新庄北高校に単位制が導入されるが、2年間で卒業に必要な単位を修得し、いわゆる「飛び級」で大学への進学するということが可能となるのか。また、単位制により新庄北高校は、どのような教育課程に変わるのか説明して欲しい。さらに、平成26年度に導入されるが、平成24、25年度入学生に対しては、何らかの移行措置のような手立てはあるのか。
- 分校となった金山校は、独自にカリキュラムを編成できるのか。
- 小中学校の分校においては、普段は「分校主任」を中心に学校が動いているが、金山校の場合も同じように分校主任を中心とした職員組織か、それとも教頭職が配置されるのか。

(県教委)

- 配置される教員数については、国が定める標準法（『公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律』）に規定がある。学科によって配置数が違うし、さまざまな加配措置があるので、一概に教員の配置数は言えない。なお、国の定める標準法によれば、普通科で1学級規模の高校の教員配置数は、8名程度を標準としている。
- 最上地区の検討委員会『中間報告書』の地域説明会においても、金山高校に林業に関する学科を設置して欲しいという要望があった。他の会場では、福祉科や体育科などの要望もあったが、特定の分野に特化した学科を設置する上では、毎年40名入学するニーズが中学生にあるか、そして3年後に卒業する40名の進路先を確保できるか等を十分に踏まえて、学科を設置する必然性及び必要性を検討しなければならない。学科としてではなく、総合的な学習の時間などを活用して、林業に関する学びを設定す

るなどの方法もある。

- 金山高校には、連携型中高一貫校という大きな特色がある。地元の支援をいただきながら、地域学習「金山タイム」やインターンシップなどにおいて、実践を重ね成果を出してきた。このことは県教委も評価しており、また町から継続して欲しいという要望があったので、1学級規模となり分校化されても、連携型中高一貫教育を継続していくこととした。
- 霞城学園高校は、生徒の選択の仕方によって授業がない空き時間があるが、それ以外の学校は学年制を併用した単位制であり、そして本県では「飛び級」を認めていないことから、新庄北高校でも、卒業に必要な74単位を習得すれば3年を待たないで卒業することはない。
- 平成26年度に新庄北高校に導入する単位制は、本県では「進学型の単位制」と呼んでいるもので、既に楯岡高校、米沢東高校、鶴岡北高校、酒田西高校に導入されており、今後、平成25年度に寒河江高校、長井高校に導入される。単位制による教員の加配を利用して、細分化された選択科目を配置でき、より一層丁寧に進学指導が展開できる。
- 平成24、25年度入学生に対しての「移行措置」はない。平成26、27年度の新庄北高校は、学年制の上級学年と単位制の下級学年が混在する。教員加配は、単位制によって授業が増えた当該学年への指導としての加配なので、基本的には学年制をとる上級学年への手立てはない。ただし、実際の学校運営においては、全職員で全生徒の指導に当たるので、学年制の上級学年に全く恩恵がない訳ではないと考える。
- カリキュラム編成については、県教委とやりとりを行うが、編成の主体は学校、つまり校長である。
- 既存の分校には教頭が配置され分校主任を務めていることから、金山校にも教頭が配置されると思う。

(質問・意見)

- 中長期的な計画では、平成36年度を目途に2校程度に再編するとあるが、少子化の進行と他地区へ進学する中学生の動向の変化などによっては、平成36年度よりも前に2校程度への再編はありえるのか。
- 林業の担い手を育成する役割を金山高校に持たせてもらいたい。

(県教委)

- 最上地区の高校の充足率などによっては、平成36年度より早まることは有り得る。逆に、魅力ある学校づくりなどによって、最上地区以外の高校への進学者が減り、各校の充足率が高まれば、平成36年度より後に再編となることも有り得る。

(質問・意見)

- 入学定員の2分の1以上の人数が入学し続ければ、金山高校は存続すると理解してよいか。

(県教委)

- 最上地区の中学校卒業生数の減少が著しいので、やがて最上地区の6校の半数が分校となった後は、新庄市内3校に対して学級数の削減で対応すると、小規模や中規模の学校だけになってしまう。これが本当に子ども達にとって望ましい姿なのか。よって、統廃合の基本方針によらず、段階的に統廃合を進めなくてはならない時期が来る可能性が高いと考えている。
- 複数の小規模校を一気に統廃合すると、ある特定の年度の中学校卒業生に不利となるので、統廃合は段階的に進める必要がある。

以上